

『夏季恒例 ビール工場見学懇親会』報告

東京支部（堺精一支部長）では、本年度で7回目となる「ビール工場見学懇親会」を千葉支部との共同企画として7月13日(土曜日)に開催しました。



昨年のアサヒビール茨城工場に続き、4年ぶりに『サッポロビール千葉工場&千葉ビール園』での開催となりました。長引く梅雨で心配された雨もかろうじて免れました。

14時15分、現地集合である東京湾に面するサッポロビール千葉工場に参加予定者東京支部15名、千葉支部5名計20名が集結し、事前説明を受けた後、定刻通り14時30分に工場見学がスタートしました。

生ビール黒ラベルの国内最大生産工場見学は、元気で分かりやすくアドリブたっぷりのツアーガイドさんの案内で他のお客様と一緒にスタート。

- ① サッポロビール発祥の歴史
 - ② ビール主原料の麦芽とホップ
 - ③ 麦汁が作られる仕込工程
 - ④ 酵母を加える発酵工程
 - ⑤ 林立する巨大タンクでの熟成工程
 - ⑥ ビールから酵母のろ過工程
 - ⑦ ダイナミックな製造ラインでの瓶詰・缶詰工程
- 以上生ビール完成までの工程を学びました。



サッポロビールの歴史は1876年北海道開拓史による「開拓史麦酒醸造所」開設が発祥でありシンボルの★は開拓に際し北極星を目印に北を目指した所以である事の説明を受けました。

また、工程エリアへの移動途中に窓から見える岸壁に停泊中の引退した南極観測船『SHIRASE』はビール工場の一部のように堂々とした風格でありました。因みに所有者は気象情報会社の株式会社ウエザニュースとの事（納得！）

その後、待ちに待った生ビールの試飲タイムとなり、試飲は20分間で3杯まで可能との説明を受け、まずは冷やしたグラスに黒ラベルでガイドさんの音頭「黒ラベル〜」でみんな元気に乾杯。2杯目・3杯目は限定販売のエクストラブリューも味わえました。家庭でのビール缶から美味しくいただく注ぎ方も披露いただき至福の時間でした。工場見学所要時間90分が終了となりました。



工場見学に引き続き隣接するマリンハウス『千葉ビール園』にて千葉支部熊本支部長の乾杯のご発声で懇親会がスタート。

「3種ラム&カルビ食べ飲み放題 90分」で舌鼓をうちながら平成4年卒から昭和34年卒まで幅広い層の校友が大いに盛り上がり懇親を深めました。

来年の麒麟ビール工場見学での再会と若手層にも呼びかけ更に幅広い層の親睦となる事を誓い東京支部村田副支部長の三三七拍子にて閉会となりました。



関西大学校友会東京支部「ビール工場見学懇親会」

幹事：堺 精一（昭和50年工卒）

中岡英之（昭和59年商卒）

2019年7月13日